



豊洲に日本中のワイナリーが集まる！

日本ワイン MATSURI 祭

事業計画書



2015年3月9日

主催：日本ワイナリー協会

運営事務局：

株式会社フードリンクグループ

担当：安田正明（代表取締役）

東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル502

電話：03-5550-2109

メール：masaaki_yasuda@foodrink.co.jp

-
- 主旨 国内酒類に占めるワイン市場は4%程度に過ぎず、しかも7割近くが輸入ワインであり、国内ワイン産業は厳しい状況にある。しかし、ここ数年、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されるなど日本の食文化への関心が高まり、それと共に日本ワインも注目され始めた。**日本ワインの普及と需要の拡大を図る**好機と捉え、日本ワイン収穫祭「第1回 日本ワインMATSURI祭」を開催したい。このイベントを毎年継続させることにより、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックをジャンプ台に、フランスワイン、イタリアワイン、カリフォルニアワインに肩を並べる世界的なワイン・ジャンルとして日本ワインの認知を促進させたい。
-
- 内容 多くの消費者、そして外国人観光客に**日本ワインを気軽に楽しんでもらえるイベント**として「第1回 日本ワインMATSURI祭」を開催する。2015年をスタートとして毎年1回、2020年まで継続開催する。
-
- 会場 江東区立豊洲公園（ららぽーと豊洲に隣接）
-
- 主催 日本ワイナリー協会
会長 横山 清（メルシャン株式会社 代表取締役）
東京都中央区日本橋2-12-7 武田新江戸橋ビル2階
電話：03-6202-5728 ウェブ：<http://www.winery.or.jp/>
-
- 後援 国税庁
-
- 協賛（予定） メルシャン株式会社、サントリーワインインターナショナル株式会社、アサヒビール株式会社、サッポロビール株式会社、キッコーマン株式会社、など日本ワイナリー協会に加盟するワイナリー約40社。
-
- 運営 株式会社フードリンクグループ
担当：安田正明（masaaki.yasuda@foodrink.co.jp 代表取締役）
東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル502
電話：03-5550-2109 ファックス：03-5550-2113 ウェブ：<http://www.foodrink.co.jp/>

江東区豊洲地域で実施する理由

ターゲット層

オフィスビルやマンションが建ち並ぶ豊洲には、ビジネスマンからファミリー層まで幅広い客層が往来するため平日でも休日でも多くの来場者が期待できる。

立地

昼は海、夜は夜景を眺めながら楽しめるとても雰囲気の良い場所である。また、商業施設が隣接しているため、集客が期待できる。近年はフットサル場やバーベキュー場などアミューズメント施設が運営されており、20代の若い客層も期待できる。

将来性

東京オリンピック・パラリンピックの施設が多数建設され、国際的にも注目度が高まる場所。近隣に2016年開設される豊洲新市場への外国人観光客の集客が見込める。

江東区豊洲公園



ららぽーと豊洲に隣接する広場

ステージ イベント

オープニングセレモニー、プレス発表を実施。
ワインの雰囲気にあった音楽ステージそして、
日本ワインを楽しく理解してもらうセミナーなどを開催。

展示コーナー

日本ワインを紹介する展示コーナーを会場内に設置。
大人から子供まで楽しく日本ワインを理解してもらうクイズラリーなども
実施予定。

キッズコーナー

ファミリー層も安心して楽しんでもらえるように、子供向けのゲーム
コーナーや小さい子も遊べる安全な遊具を設置。

飲食スペース

イスとテーブルを設置し、フリーで飲食できるスペースを設ける。
雨天時に備え、テントを常設する。

ワイン販売

一杯300円からのグラス売り。別途販売するオリジナルワイングラスを
持って、各ワイナリーを周っていただく。

フード販売

営業許可を得ているキッチンカーを配置し、フードの販売を行う。
ワインに合う食事からファミリー層にも楽しんでもらえるメニューを用意。
会計はキャッシュオンデリバリーを基本とする。

日本ワイン収穫祭 レイアウト案

テントの周りにワイン販売テントキッチンカーを配置し、雨天でも楽しんでもらえるようなレイアウトとする。

仮設トイレ



控室・倉庫



簡易ステージ



テーブル・イス



ワイン販売テント



晴天時には椅子テーブルを屋外にも並べる。

キッチンカー



飲食スペーステント



テント内には約300席用意

ステージ

- 仮設ステージを設置
- 風が強い場所のため、専門業者による十分な安全性を確保した施工を行う。

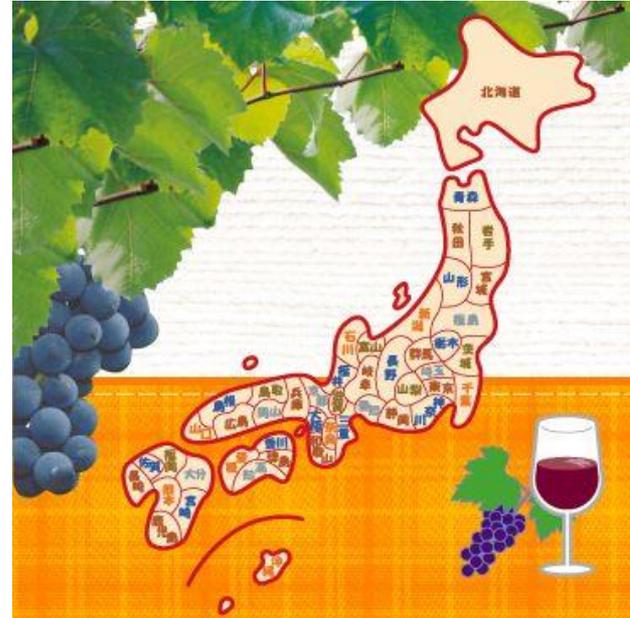
ステージプログラム

- オープニングセレモニー
 - ・ 関係者・マスコミ向けのセレモニーを実施
- 音楽ステージ
 - ・ ジャズバンドやジブシージャズなどの演奏を実施。会場内に賑わいを与える。
- 日本ワイン講座
 - ・ ゲストを迎えて日本ワインの基礎知識や楽しみ方などを伝えるセミナー等を実施
- 親子で楽しんでもらえるようにお子様が楽しめるゲーム大会などのステージも検討。



展示コーナー

- 広く多くの方に日本ワインを理解してもらえるよう、パネルなどの展示物で紹介する。
- クイズラリーなどを実施し親子で楽しく理解してもらおうような工夫をする。



キッズコーナー

■ ファミリー層も楽しんでもらえるために、ワークショップやお子様が遊べるスペースを確保する。

ワークショップ例

- ・エコバッグの絵付け（グラスを持ってかえる袋づくり）
- ・新聞紙でワインバッグをつくろう

スポーツ系遊具（オリンピックを意識）

- ・サッカー遊具
- ・ボールの遊具



飲食スペース

- 雨天対策として、テントを設置。
テント内に長テーブルとベンチを配置する。
- テント外にも長テーブルとベンチを設置して、
約300名の飲食スペースを確保する。
- 立ち飲みスペースとして樽テーブルを設置。



装飾イメージ

- ワイナリーを模したイメージ装飾
- 葡萄の木やつる、樽など緑と茶色を基本色とし
エントランスなどを装飾する。
- テント内の天井部につるを施し、葡萄をイメージする。



ワイン販売について

- テントを使用
- 地域ごとのワインの特色を味わってもらうため、地域ごとにワイナリーを分けてブースを設営し販売する。
例) 北海道、東北、関東、山梨、長野、近畿、中国、九州
- テント内備品
 - ・ ワインを冷やすどぶ漬け容器
(氷と水を入れてを設置。)
 - ・ 長机、ゴミ箱
- ※ ワイン販売テント内での調理はない。
- 風が強い場所のため、専門業者による施工を行う。



フード販売

- 営業許可のあるキッチンカーで販売を行う。
- ワインにあう様々なメニューを取り揃える。
- 保健所の指示に従い、共同手洗い場などを確保する。
その際の配管工事は専門業者が行い、お客様導線になるべくかからないようにレイアウトする。
万が一お客様導線にかかる場合はカバーを作り、
段差注意を促す。



電気工事

- イベントで使用する電気は発電機を使用する。
電気工事を行い分電盤を設置し、各場所へ供給する。
- 発電機の数量、容量などは今後の調整。
- 安全のためカラーコーンなどの柵で囲う。



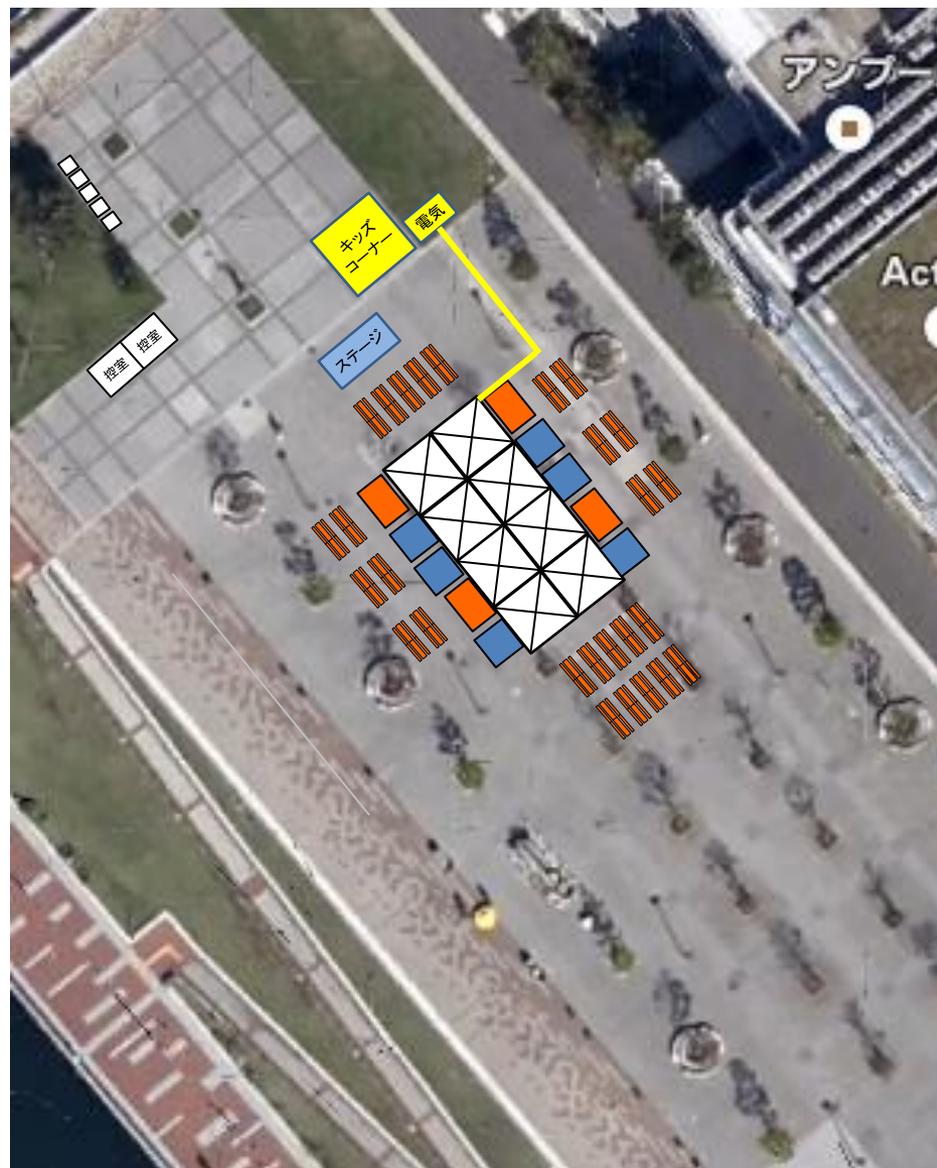
発電機
(容量によってはサイズは変わります)

分電盤

養生

ゴミ処理

- 分別でゴミ箱を適量設置する。
- ゴミは朝、専門業者に回収を依頼する。



給排水

- 給排水を行います。現調後、排水ルートを確認し、排水を使用するコーナーを固めなるべく配管を少なくした施工を行う。



排水管

仮設トイレ

- 来場人数をまかなえる仮設トイレを設置する。トイレの形状は今後検討。



● 基本的に集客するための手段として使用する物には、中止する旨を記載する。

● **チラシやポスターに注意事項として下記文面を記載**

「雨天決行。但し、悪天候などにより中止させていただく場合があります。」

● **「日本ワインMATSURI祭」専用ホームページとフェイスブックを立ち上げるので、その中で中止の場合は告知することをチラシやポスターにも記載する。**

「詳しくはホームページまたはフェイスブックでご確認ください。」

● **当日、会場に中止を告知する看板やスタッフを配置する。**

●未成年者対策

- ・最初の購入時に身分証の提示を義務付け成年者の手にリストバンドを着用していただく。以降はそのリストバンドを目印に販売を行う。
- ・会場内の各所やアルコール販売箇所に左記の看板を設置する。
- ・パンフレット等の印刷部には必ず左記のマークを記載する。
- ・ホームページ上で注意喚起する。
「未成年による飲酒、及び飲酒運転は固くお断りいたします。
なお、自転車も車両の一種（軽車両）ですので、ルールをお守りください。」



※ビール酒造組合

「STOP!未成年者飲酒」プロジェクトは、ビール会社5社（麒麟ビール株式会社、サッポロビール株式会社、サントリー酒類株式会社、アサヒビール株式会社、オリオンビール株式会社）からなるビール酒造組合が中心となり、未成年者の飲酒を防止することを目的とし、2005年から開始した活動です。

アルコール飲料のテレビCM、広告には、必ず「STOP!未成年者飲酒」マークを表示することを義務付けることをはじめ、アルコール飲料製造メーカー、コンビニエンスストア、量販店、小売店、さらに中学・高校に対しても、未成年者飲酒防止を伝える活動を実施しています。

●飲酒運転対策

- ・未成年者対策と同様に、最初の購入時に自動車での来場者に対し、仲間同士の協力を得て飲まない人（ハンドルキーパー）を決めてもらい、ハンドルキーパーにはそれを明示する首掛けをかける。各ブースはハンドルキーパーには酒類の販売を行わない。



ハンドル
キーパー